

平成30年美濃加茂市議会第4回定例会一般質問通告一覧

No.	議員名	質 問 要 旨
1	森弓子 結いの会 (一問一答)	<p>1 あい愛バス(むくの木・そうきち線)について</p> <p>① 医療機関(木沢病院・太田病院・野尻整形)へ容易にアクセスできるのが本来の目的ではなかったか</p> <p>② 下米田地内の路線改良(不便すぎる) 下米田交流センターと古井駅を結ぶことを考えては</p> <p>③ 美濃太田駅北口の待合所の寒さ対策</p> <p>2 健康寿命について</p> <p>① 美濃加茂市の健康寿命は。健康寿命を延ばすための施策と目標</p> <p>3 メディカルシティ構想(中部国際医療センター(仮称))について</p> <p>① ECI方式での建設とあるが、市の保健センターの進め方は</p> <p>② 本市のメディカルシティ構想の核とあるが、健康都市宣言市との両輪のアピール</p> <p>4 可茂消防施設整備計画について</p> <p>① 可茂消防事務組合消防強化プランの進捗状況</p> <p>② 森山分遣所の格上げ及び移転について</p> <p>5 下米田小学校学童保育の教室不足について</p> <p>① 教室(場所)が足りない状況の改善を</p>
2	山田栄 結いの会 (一問一答)	<p>1 防災について</p> <p>① ハザードマップにある木曾川浸水想定区域内の避難所で洪水の場合第二次避難施設とならないエリア内にある太田小、プラザちゅうたい、古井第2保育園、文化会館周辺に住む市民の避難方法についての考えは</p> <p>② この4カ所の避難所の収容可能人員は合計で1,000人、生涯学習センター(第1次避難施設)150名を加えると1,150人となる。市街地で高齢化の進む地域であり、収容可能人員数を検討することが大切と考えるがその考えは</p> <p>③ 昨年及び今年の台風による被害状況、復旧費用の総額について</p> <p>④ 昨年及び今年の風水害等で避難所へ避難した市民の状況は</p> <p>⑤ 避難広場として里山公園(旧日本昭和村)を加えてはと考えるが県との協定はできないか</p> <p>⑥ 防災の日9月1日前後で可茂地域の自治体では訓練が実施されているが、連携した訓練の考えは</p> <p>2 坪内逍遙事業について</p> <p>① 第17回坪内逍遙大賞は地元出身の北川悦吏子氏が受賞され、ご本人が脚本したNHKの連続朝ドラマ「半分、青い。」も好評のうちに終了した。大賞受賞者との交流は本市にとっては有意義な成果を生むことになる。坪内逍遙博士を通じたまちづくり、今後の美濃加茂市の文化発展へ向けた大賞受賞者との交流や事業の考えについて</p> <p>② 坪内逍遙博士を身近に感じさせるためには、いつでも見たり、勉強できるところが必要だと思う。記念館建設の考えについて</p> <p>③ 坪内逍遙博士に関係する資料で本市が保有する物としてどのようなものがあるのか。また、その資料はどのように活用してきたのか</p>
3	柘植宏一 新しい風 (一問一答)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>① 市長が目指す健康都市について</p> <p>I 健康都市の将来像とはどのようなものか。また、その実現には具体的にどのような施策あるいは事業が必要と考えるか</p> <p>II 健康都市構想を6次総においてどのように反映させる考えか</p> <p>② 教育総合会議について</p> <p>I 教育総合会議の役割についてどのように考えているか。また、その開催予定は</p> <p>③ まちづくり協議会のあり方について</p> <p>I 高齢者福祉、健康保持、障がい者福祉等の分野において、地域社会にどのような役割を期待するか</p> <p>II 子どもたちの教育あるいは健全育成などの分野において、地域社会にどのような役割を期待するか</p> <p>III 安心安全、環境美化なども含め、これらの役割は誰がどのような形で担えると考えるか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	柘植宏一 続き	<p>2 古井地区の課題について</p> <p>① 古井地区まちづくり協議会設置について</p> <p>I まちづくり協議会設置準備の進捗状況と課題について</p> <p>II 課題を受けた今後の取り組みは</p> <p>② 下古井交流センターのセンター機能確保について</p> <p>I 解体の予定と聞いているが、その時期と工程は</p> <p>II どのような団体が利用しているか、また、その利用及び活動はどのように担保されるか</p> <p>③ 山手小学校北の商業複合施設開業に伴う対策について</p> <p>I 商業複合施設開業による周辺地域及び山手小学校への影響が心配されているが、周辺生活道路や通学路への安全対策はどうなっているか</p> <p>II 事業者と地元自治体との間で営業後の交通安全や環境美化等のトラブル解決のための協議会設置の構想もあるが、市の考えは</p> <p>3 第6次総合計画策定について</p> <p>① 6次総策定作業の現状と今後の工程表について</p> <p>I 現在、各地区において策定に関わるワークショップが開催されているが、基本構想、基本計画等の策定に関わる工程は</p> <p>II 総合計画と個別計画の整合性はどのように確保されるか</p> <p>4 発達支援センターについて</p> <p>① 発達支援センター設置について</p> <p>I 発達支援センター設置の準備状況はどうか。また、設置に向けた課題はどうか</p> <p>II 準備室設置により加速化を図ってはどうか</p>
4	渡辺孝男 結いの会 (一問一答)	<p>1 障害者雇用促進法に定めている障がい者雇用人数について</p> <p>① 障害者雇用促進法で法定雇用率が定められているが、本市の雇用人数は何人か。また、全国の自治体で雇用人数が問題になっているが本市はどうか</p> <p>2 リバーポートパークについて</p> <p>① リバーポートパークも当初の予定より多くの方に利用されているが、一部の方から駐車場が少ないなどの意見を聞くが、今後市として駐車場整備の計画はあるか</p> <p>② BBQハウス等、冬の利用者増を委託業者と一緒に考えることも必要であるが市の考えは</p> <p>③ 自然をもっと満喫していただくため、リバーポートパーク東側の森に、キャンプ場を復活させてはと思うが市の考えは</p> <p>④ 本市には、『健康の森』『ぎふ清流里山公園』『リバーポートパーク』と、三カ所の自然を満喫できる公園が整備されているが三カ所の公園をうまく活用し、更なる利用者増を考えてはと思うが市の考えは</p> <p>3 登下校時の子どもの安全確保について</p> <p>① 通学路の危険箇所を、学校、警察、教育委員会、子ども等で指摘し安全確保につなげる防犯診断も必要と思うが市の考えは</p> <p>② 国が実施した、子どもを見守る関係閣僚会議の議事録に社会資本整備総合交付金等を活用した支援を行う、と言われているが本市もこの事業を活用してはと思うが市の考えは</p>
5	酒向信幸 結いの会 (一問一答)	<p>1 鳥獣被害対策について</p> <p>① 野生鳥獣による農作被害額は、全国では近年200億円前後で推移している状況である。被害のうち全体の7割がシカ、イノシシ、サルによるものである。本市が平成29年度から31年度と定めた鳥獣被害防止計画に基づいて被害の状況と傾向は</p> <p>② 鳥獣被害対策は個体群管理・侵入防止対策・生息環境管理の3本柱が鉄則である。本市の被害防止計画の中に、今後の取り組み方針として「防除」、「被害原因の除去」、「生息環境管理」の実施と記載されているが現状での取り組みの進捗状況は</p> <p>③ 全国における狩猟免許所持者の推移をみると銃猟免許はここ10年で約15万人から9万人弱に減少する中、わな猟免許は5万人から9万人と増加の傾向であるが市内における銃猟免許、わな猟免許の所持者数の推移と傾向は</p> <p>④ 今年度から鳥獣被害対策実施隊事業(673万円)として予算化され猟友会に委託となった。現在の活動内容と効果は</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	酒向信幸 続き	<p>⑤ 電気柵又は防護柵一式の購入額に1/2もしくは個人設置1万円、共同設置1万5千円に受益対象者の数を乗じた額、団体設置1万5千円とのいずれかの少ない額としている補助額が低いと思われるが、見直す方向性があるか</p> <p>⑥ 捕獲の基本的な技術の上にICTを活用することによって見回りの作業の軽減、捕り逃がしの防止による捕獲の効率化等を図れることが期待されている。遠隔監視・操作システムや個体数、獣種判別システム導入で捕獲数の増加に成功している自治体が多くあるが導入検討してみてもどうか</p> <p>⑦ 農林水産省では鳥獣被害に関する専門的知識及び経験を有し、地域における被害防止計画の作成及びその実施に際して助言を行う「農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー」を紹介している。全国で205人が登録されているが、こうした技術的な支援も必要と思われるが、どう考えるか</p> <p>⑧ 猟友会による有害鳥獣の追い払いエリアの拡大やドローンを活用した追い払い業務や業務負担軽減、効率化のための管理道の設置についての効果や進捗状況は</p> <p>⑨ 環境省・農林水産省では抜本的な捕獲強化対策(平成25年12月策定)から10年後の平成35年度には生息頭数(シカ・イノシシ)を半減させるために捕獲事業の強化や捕獲従事者の育成・確保に重点をおいているが本市において今後の捕獲強化に向けて重要なことは何か</p> <p>2 空き家対策について</p> <p>① 適正に管理されない空き家等が周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしていること等を背景に制定された「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成27年5月から施行され、各自治体は空き家等対策計画を策定した。固定資産税等に関する情報の活用が可能な中、空き家等の実態把握、所有者の特定について、本市の状況は</p> <p>② 空き家の有効活用として空き家バンク制度がある。本市は今年3月に空き家バンクを設立し運用がスタートした。所有者・利用者の登録から利用までの流れと現状の状況は</p> <p>③ 空き家対策を加速するため、空き家に関する多様な相談対応できる人材育成、多様な専門家との連携による相談体制の構築、専門家等が連携して共通課題の解決を行うモデル的な取組みについて国は支援する平成32年度までの事業となっている。本市にも必要な事業と思われるが考えを伺う</p>
6	前田孝 日本共産党 市議団 (一問一答)	<p>1 木沢記念病院建設について</p> <p>① 建設スケジュールでは、2022年春開院予定になっているが、現在の進捗状況は</p> <p>② 地域住民に対する説明会の予定はあるのか</p> <p>③ 開院後車両の通行量も増加が予想されるが、駐車スペースは何台分あるのか。また、車両出入口は何か所あるのか</p> <p>④ 新病院周辺エリアに新商業施設も進出されるとのこと。車両増加に伴う対策はどのように考えているか</p> <p>⑤ 新病院敷地内に「市民交流施設」が建設されるがどのような施設が入所するのか。また、「市保健センター」が入ると聞いているが、2022年開所予定であり現在の進捗状況は</p> <p>2 高齢化社会に対する高齢者の安全安心対策について</p> <p>① 独居・高齢者世帯のごみ出し問題について</p> <p>I ボランティアによる支援の状況(前日持ち出しは)</p> <p>II ごみ集積所の増設</p> <p>III 集積所設置に対する補助は</p> <p>② 独居・高齢者世帯の買物困難者に対する対策は</p> <p>I 困難者の現状をどのように把握されているか</p> <p>II ボランティア支援</p> <p>III 買物(あい愛バス)循環</p> <p>3 子ども・高齢者の防犯・交通安全対策について</p> <p>① 横断歩道メロディー信号の設置数は。また、今後の設置予定は</p> <p>② 防犯カメラ設置について通学路カメラ設置協定以後の状況は</p> <p>③ カメラ設置補助金交付要綱や運用条例制定の予定は</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	前田孝 続き	4 新庁舎建設について ① 建設用地決定については、市民の意見を十分に聞いて市民合意のもと決定すること
7	金井文敏 市議会 公明党 (一問一答)	1 すい臓がん対策について ① エコー検査をすることで早期発見、早期治療ができる。本市のすい臓がんに対する見解と今後の見通しについて 2 風疹対策について ① 美濃加茂市の風疹対策の現状 ② 妊婦への影響について ③ 39から56歳男性への重点対策について ④ その他の年代の男性への対応について ⑤ 今後の課題について 3 美濃加茂市の各避難施設について ① 収容人数 ② 各家庭からの距離 ③ 宿泊する場合の畳の数 ④ 洋式トイレの数 ⑤ ベットの持ち込みについて ⑥ 各公民館との連携について 4 防災無線の難聴対策について ① 防災無線の声を災害と公報で男性と女性に分け最初にメロディ等の効果音を入れる。ワンセンテンスを短くする。曲で広報と防災とに分ける。テレホンサービスの確認につながる。今後の取り組みについて 5 イノシシ対策について ① 本市のイノシシ被害の現状について ② 本市の取り組みについて ③ 今後の課題について 6 学校給食のアレルギー対策について ① 牛乳アレルギーの対応として取り除いているが、牛乳の代わりは自宅からお茶を持参している。お茶を出せないかとの声があるが対応できない理由について ② 牛乳プリンの代わりにゼリーを出せないか ③ 物資選定委員にアレルギー児の親の枠をつくる ④ 各学校での取り組みについて 7 あい愛バスの運行について ① 乗車数の推移 ② 利用目的 ③ 利用満足度 ④ 特急便の開設 ⑤ 停留所までの距離 ⑥ 目的別のダイヤ改正について ⑦ 高齢者対策としての無料パスの支給について 8 フレイルチェックの導入について ① 加齢に伴って筋力や心身の活力が低下した状態＝フレイル(虚弱)の状態を経て要介護状態に陥ると考えられている。フレイルの進行を抑制し健康な状態に戻すため自分の状態がどうなっているか調べるのが大事である。フレイルチェックを健康施策に取り入れることについて 9 投票所について ① 投票所と投票率の関係について ② 投票所の増設について 10 連絡所長の職責について ① 連絡所長の業務範囲 ② 市長の補佐としての役割について
8	村瀬正樹 新生会 (一問一答)	1 本市における豚コレラの影響と対応について ① 近隣市町村及び本市における豚コレラやそれに感染したイノシシの発生発見状況と、今後の発生の危険性は ② 猟友会・わな設置者と決めている対応は ③ イノシシ狩猟禁止で、イノシシが増えることになろうが、どう対処するのか ④ 猟友会員、養豚業者、農林業従事者への配慮、手当はどうするのか

No.	議員名	質 問 要 旨
	村瀬正樹 続き	<p>2 台風21号による倒木被害の検証と対策について</p> <p>① 倒木による公共施設への損害、交通や停電への影響はどうだったか</p> <p>② これらのうち、予想、予防できたものがありはしなかったか。あったなら今後の対策は</p> <p>③ 民地の倒木、危険木の処理はどうしたらよいか</p> <p>3 新庁舎整備計画の今後のスケジュールについて</p> <p>① 未来のまちづくり委員会が示している平成30年11月2日現在のスケジュールによれば、整備地についての中間答申が平成31年2月、最終答申が平成31年10月とあるがこの通りか</p> <p>② 市民の声を聞いたり、説明する時期、場、方法についての考えは</p>
9	牧田秀憲 結いの会 (一問一答)	<p>1 健康について</p> <p>① 市では「もっと健康・もっと元気プラン（第2期美濃加茂市健康増進計画）」に基づきさまざまな健康づくりに関する取り組みを行ってきた。健康への市民の意識などどのように感じるか</p> <p>② 31年度は「健康再出発年度」として新たな事業に取り組みとして、県は市と協働して今年9月より「清流の国ぎふ健康ポイント事業」を開始した。市民に対しての認知度が低いように思われるが、このポイント事業をどのように活用していくか</p> <p>③ 市独自の健康ポイント事業について考えは</p> <p>④ ICTを使ったウォーク事業についての考えは</p> <p>⑤ 食について、当市ではすでに減塩レシピ本が3号まで進んでいるが、民間の力を借りて「もっと食を」考える政策はないか</p>
10	片桐美良 結いの会 (一問一答)	<p>1 豚コレラについて</p> <p>① 本市における狩猟禁止、調査捕獲、有害鳥獣駆除の区域の区分は。また、捕獲罠・檻の数と今年の捕獲数は</p> <p>② 市内の防疫体制は</p> <p>③ 関係者・機関への損失補助は</p> <p>④ 県への豚コレラ生ワクチン許可要請を</p> <p>2 未来のまちづくりについて</p> <p>① 立地適正化事業における国の財政支援は。本市の財政支援の活用案は</p> <p>② 公共交通の満足度を上げる方策は</p> <p>③ コンパクトエリアへの居住誘導とサテライトエリアへの移住推進の整合性は</p> <p>④ 商業ビルの平成20年から30年における改修計画と実績は</p> <p>⑤ 商業ビルの今後について</p> <p>I 商業ビルの今後の改修費用の見込み額は</p> <p>II 商業ビルの今後のあり方についての考えは</p> <p>⑦ 市所有地における新庁舎整備候補地について</p> <p>I 養豚研究所用地、返還熱意が不十分では</p> <p>II 太田駅周辺市有地（12,000㎡）活用の考えは</p>
11	永田徳男 結いの会 (一問一答)	<p>1 選挙投票所の数の見直しについて</p> <p>① 平成25年6月2日の市長選挙より現在の11カ所の投票会場になって、現在までの投票率の減少の要因になっていないのか</p> <p>② 平成25年6月2日から本年までの市議会選挙での投票所に関する経費はいくらか</p> <p>③ 送迎タクシーの利用者数は</p> <p>④ 若い層の年代の投票率をどう考えているのか</p> <p>⑤ 投票率を上げる対策をどう考えているのか</p> <p>2 森山用水の管理について</p> <p>① 現在の森山町3丁目から本郷町4丁目までの間の森山用水の管理と現状把握はしているか</p> <p>② 森山用水付近の環境整備について、平成30年第1回臨時会の補正予算で災害復旧費として計上されているが、その進捗状況は</p> <p>③ 森山用水を今後どのように管理されるのか。また、方向性は</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
12	田口智子 結いの会 (一問一答)	<p>1 小児インフルエンザの予防接種について</p> <p>① 昨年度の市内の小中学校学級閉鎖数は</p> <p>② 子育て世代の要望として、子どものインフルエンザ予防接種の費用補助がある。本市の子どものインフルエンザ予防接種は任意接種で、13歳までは3,000円×2回=6,000円、多子家庭の費用負担は大きく、接種を見合わせてしまう場合もある。子どものインフルエンザ予防接種助成についての考えは</p> <p>③ 子どもに携わる職業従事者の接種助成についての考えは</p> <p>2 リバーポートパークについて</p> <p>① リバーポートパークの管理会社の公募について、今の管理会社に決定した理由や契約内容、期間について</p> <p>② リバーポートパークの管理運営費が年間17,483千円予算化されているが、市は管理運営費の使用先、事業計画、収支報告を受けているか</p> <p>③ 利用者の年齢層やリピート率等の調査はされているか。市民の利用率は。子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方に利用しやすいリバポとしての見直しは</p>
13	坂井文好 結いの会 (一問一答)	<p>1 自然災害と農業の現状・将来について</p> <p>① 台風21号に伴う被害状況及び災害発生時における支援について</p> <p>I 堂上蜂屋柿などは打撲果が多いと聞いているが、美濃加茂市での被害状況はどうであったか</p> <p>II 保険、融資、行政補助などの補償や支援体制はどこまで構築ができているのか</p> <p>III 災害被害により農家の継続意欲も低下する中、どのように産地を守っていくのか</p> <p>② 今後の農業の担い手について</p> <p>I 今国会でも審議がなされている「出入国管理法」など改正に伴う外国人労働者の受け入れ拡大について、どのような影響がもたらされるのか。担い手として考えられるか</p> <p>II 最近、関市では特産品の里芋(円空)を障がい者施設と組み、農作業委託を拡大してきている。福祉の観点からも農福連携の取り組みについてどう考えるか</p> <p>III 将来を担う若手農業者の団体であるみのかもファーマーズとの協調・協力体制はどうなっているか</p> <p>③ 今後の農業のビジョンについて</p> <p>I 農業用ドローンへの関心が高まっている。農業散布などの作業委託や機体レンタルなどのサービス事業である。AI(人工知能)を駆使したスマート農業への取り組みはどうか</p> <p>II 濃尾平野の一角にあって、山・丘陵地・田園・川からなる地形は美しく、気候は温暖で雨も少なく過ごしやすい。恵まれた自然環境は農産物の宝庫となっている。自然を守ることは農業を守ることに等しいと考えるがどうか</p>
14	渡辺義昌 結いの会 (一問一答)	<p>1 美濃加茂市公共施設等総合管理計画について 施設の老朽化に伴い建て替えや大規模修繕などが必要になっている。「美濃加茂市公共施設等総合管理計画」について、また関連した内容について伺う</p> <p>① 旧耐震基準昭和56年6月以前に建設された施設はどのようなものがどのくらいあるか</p> <p>② 老朽化に伴い、今後数年、10年、20年と建て替え、大規模修繕、廃棄等計画はどのように考えているか</p> <p>③ 保育園については、小規模な建物であり老朽化に伴い大規模な修繕がすぐにでも必要と考えるが、計画について伺う</p> <p>④ 公共施設等総合管理計画の中で、複合施設や統廃合についての考え、計画について伺う</p> <p>⑤ 公共施設等総合管理計画には40年間の更新等費用資産額が年間36億円不足するとあるが、どのように考えるか</p> <p>⑥ 総合管理計画と市債に対する考えは</p> <p>2 選挙の投票率と期日前投票について 9月30日執行の美濃加茂市議会議員選挙は投票率49.56%と有権者の半数しか投票されなかった。また、その内の半数以上は期日前投票だった。投票率について、また選挙のあり方について伺う</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	渡辺義昌 続き	<p>① 投票率49.56%をどのように評価されるか</p> <p>② 期日前投票をされた方が当日投票された方よりも多くなった。今回の結果を見てどのように考えるか</p> <p>③ 「投票当日投票所投票主義」が原則であるが、期日前投票が多くなれば、選挙運動の原則、期間に影響があると思うが、対応はあるか</p> <p>④ 選挙公報が配布される前に投票が済んでいる方も多くあった。配布時期や配布方法についての対策は</p> <p>⑤ 当日投票を増やすために、当日投票所を期日前投票のように投票所を選択できるようにならないか</p>